

日本労働社会学会第 32 回大会

主催校：大阪経済大学 ZOOMにて開催

開催日：2020年10月11日（日）

シンポジウムテーマ：COVID-19 と労働

司会：萩原久美子(下関大学)、李旼珍(立教大学)

第一報告

「コロナ禍がシングルマザーの労働と子育てに与える影響

—札幌市母子寡婦福祉連合会・会員のアンケート報告」

中園桐代(北海学園大学)

第二報告

「新型コロナウイルス感染症と看護労働

—日本看護協会の取り組みから」

小村由香(日本看護協会)

自由論題報告I：労使関係・労務管理

第1報告

「チッソ労使関係史から見えてくるもの

—対抗型労働運動と社会的自立の関係性の考察」

石井まこと（大分大学）

第2報告

「1970-80年代における金属機械産業の労働組合による賃金水準平準化の取組」

霜田菜津実(立教大学・院)

第3報告

「訪問看護事業を維持する労務管理実践」

谷川千佳子（聖徳大学）

第4報告

「ニカラグアの高学歴先住民族女性たちの非営利組織における無償労働と労働倫理」

池田佳代（関西学院大学・院）

自由論題報告II：公務労働・非正規雇用(前半)

第1報告

「採用選考と性別情報

—ジェンダー差別の監視ツールとしてのジェンダー統計」

村尾祐美子(東洋大学)

第2報告

「自治体職員たちの30年

—ある政令指定都市の大卒行政職事務系職員の中期キャリアを中心に」

松尾孝一(青山学院大学)

第3報告

「事務職派遣労働者の『無期雇用派遣』転換の選択」

江頭説子（杏林大学）

第4報告

「技術職の無期雇用派遣“正社員”が示す可能性と課題」

鵜沢由美子（明星大学）